

9 環境への取り組み

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	04 衛生費	01 公衆衛生費	05 保健環境センター費	41,825
一般	04 衛生費	02 環境衛生費	03 環境衛生指導費	1,382,830
一般	04 衛生費	02 環境衛生費	04 公害対策費	237,221
一般	06 農林水産業費	05 林業費	04 造林費	※ 1,058,835

1 総合的な環境施策の推進

1 「環境首都とくしま」の実現に向けた総合的な環境施策の推進（環境首都課）

1(1) 環境首都とくしまづくりの推進

「環境首都とくしま憲章」の県民への普及・浸透を図るため、リーフレットの配布や各種メディア、イベント等を通じてPRするとともに、本県における地球温暖化対策に向けた具体的な行動指針である「とくしま地球環境ビジョン（行動計画編）」に沿って各種施策を展開した。

1(2) 環境施策の総合的推進

平成 11 年 3 月に制定した徳島県環境基本条例の基本理念に沿って、徳島県環境基本計画に基づく環境施策の総合的・計画的な推進を図った。

1(3) 環境首都とくしま創造センターの設置準備

「環境活動の支援」、「環境学習の推進」、「地球温暖化防止活動の推進」の3つの機能を有する拠点となる「環境首都とくしま創造センター」の設置に向けて、施設の改修や地域地球温暖化防止活動推進センターの指定、開設準備等を行った。

2 徳島県環境マネジメントシステムの推進（環境首都課）

2(1) 環境マネジメントシステムの推進

平成 21 年 11 月 1 日から「環境首都とくしま・県マネジメントシステム」の運用を開始し、公共事業の環境配慮の推進や県率先行動計画の着実な実施に向けた取り組みなどを行った。

2(2) エコオフィスとくしま・県率先行動計画（第3次）の推進

県率先行動計画に基づき、全庁で用紙類使用量や電気使用量などの節減に取り組み、県の事務

- ・事業における環境負荷の低減に努めた。

なお、平成 20 年度を基準年度、平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年間の計画期間とするエコオフィスとくしま・県率先行動計画（第 4 次）を策定した。

2(3) グリーン調達の推進

グリーン購入法に基づく国等の取り組みに準拠して、徳島県グリーン調達等推進方針を改定するとともに、効果的なグリーン購入の推進に努めた。

3 環境影響評価の推進（自然環境課）

3(1) 環境影響評価制度の推進

- ア 公有水面埋立事業等各種開発事業に係る環境影響評価の指導及び環境影響評価に必要な資料の提供等を行った。
- イ 徳島県環境影響評価条例関係例規集及びパンフレット並びにインターネットを活用し、徳島県環境影響評価条例の周知に努めた。
- ウ 事業計画等の策定の、より早期の段階において、適切な環境配慮を行うための手続等について、検討を進めた。
- エ 徳島県環境影響評価条例に基づく事後調査手続（報告書）を行った。

4 環境教育・学習・実践活動の推進（環境首都課，南部総合県民局）

4(1) 環境学習等の推進

「徳島県環境学習推進方針」に基づき、地域の特性を踏まえた環境学習の全県レベルでの実践を促進するため、実践モデル事業への支援や環境学習プログラムの普及を図った。

また、「子どもエコクラブ」等を推進するとともに、とくしま環境県民会議と連携し、県民や事業者などが自発的に実施する環境に関する講演会・学習会・地域活動などに、環境の専門家（環境アドバイザー）を講師・助言者として派遣した。

4(2) みんなでみなみの環づくり事業

産学官民協働による環境保全活動組織である「みなみから届ける環づくり会議」は設立から 3 年を経過したため、平成 21 年度に改めて環境課題の見直しを行い、交通、水質、竹林、参加協働及び環境教育の 5 つの環境課題を決定し、課題毎にワーキンググループを起ち上げた。11 月には、エコ通勤の交通社会実験を行うなど、各ワーキンググループ毎に環境保全活動を実施した。また、その成果を、平成 22 年 3 月に総会を開催して発表した。

5 環境情報の整備・提供の推進（環境首都課）

5(1) 環境情報の提供・発信

各種イベント等への参加、環境白書の刊行などにより、複雑・多様化する環境問題について県民一人ひとりが考え行動する機会を提供するとともに、県内のエコショップを活用した「環境首

都とくしま情報ステーション」において、環境情報の提供・発信を行った。

6 調査研究等の充実（環境首都課）

6(1) 保健環境センターによる調査研究

保健環境センターにおいて、公害防止技術・監視測定技術、環境汚染の影響の把握評価、環境汚染メカニズムの解明などの調査研究を行った。

6(2) 保健環境センター施設整備事業

保健環境センターは、昭和49年に建設された施設であり、老朽化が進み、耐震性能も確認されていない状況にあることから、保健環境センターの機能を、徳島保健所・製薬指導所庁舎内施設の再配置により確保するスペース等に移転するため、実施設計を行った。

7 とくしま環境科学機構の運営（環境首都課）

7(1) 機構の運営

徳島県における環境分野の「知の拠点」として、産学官連携のもとに創設した「とくしま環境科学機構」において、「循環型社会の構築」に関する調査研究や、環境に関する意識の高い人材を養成するための講座を実施した。

8 とくしま新成長戦略（グリーンニューディール）の推進（環境首都課）

8(1) 県有施設へのLED照明設備の設置等

温室効果ガスの排出を削減するとともに、自然エネルギーの活用や地球温暖化対策の啓発を推進するため、県有施設へのLED照明設備の設置等を行った。

8(2) 環境保全・創造に取り組む民間企業・NPO等支援

省エネルギー施設・設備の導入等により、環境の保全・創造に取り組む民間企業・NPO等への支援を行った。

8(3) 地球温暖化対策に取り組む市町村への支援

地域特性を活かした地球温暖化対策や不法投棄・散乱ゴミ処理の取り組みを行う市町村への支援を行った。

8(4) 漂流・漂着ゴミ対策の推進

美しい海辺環境づくりを進めるため、「徳島県漂流・漂着ゴミ対策推進地域計画」策定を目的として、漂流・漂着ゴミの回収・撤去・処理を推進した。

2 地球環境の保全

1 地球温暖化対策の推進（環境首都課，林業振興課，南部総合県民局）

1(1) 地球温暖化対策の総合的推進

徳島県地球温暖化対策推進条例を平成 21 年 4 月から施行し，徳島県地球温暖化対策指針と併せて地球温暖化対策の推進を図った。

また，地球温暖化対策推進計画策定に向け，エネルギー消費や温室効果ガス排出の状況等についての調査・分析を行うとともに，地球温暖化対策等の基礎資料集積等に取り組んだ。

1(2) 実践的な産学民官の協働活動の推進

とくしま環境県民会議と連携し，平成 20 年度に設置した「低炭素型交通システム」と「カーボン・オフセット推進」の 2 つの検討会において，企業へのエコ通勤提案や，国の J－V E R オフセット・クレジット導入検討を行うとともに，新たに設置した「新・省エネルギー対策推進検討会」において，新・省エネルギーの具体的な推進方策を検討した。

1(3) 地球にやさしい環境県民運動推進事業

とくしま環境県民会議との協働で，「徳島夏・冬のエコスタイル」を呼びかけるとともに，「2009 消費者まつり」や「夏エコ納涼展」等において，エコライフに関する情報などを提供した。

1(4) 広域的かつ先導的なキャンペーンの実施

とくしま環境県民会議との協働で，徳島県地球温暖化対策指針の啓発やエコポイント制度と連携した省エネ家電の普及・推進のためのキャンペーンを実施するとともに，エコドライブ講習会を J A F 徳島支部とも連携して実施した。

併せて，生態系にも配慮する中で，緑のカーテンの普及などに努めた。

1(5) 地球温暖化対策のための設備導入の推進

温室効果ガスの削減に資する取組や設備の導入など，地球温暖化対策に積極的に取り組む中小企業者に対し，その取組を加速させるため，低利融資である「徳島県地球温暖化対策資金貸付制度」の利用促進に努めた。

また，複数の企業等が共同し新・省エネルギー設備を導入することを促進するため，計画の策定の支援に努めた。

1(6) 県民や企業と協働した森づくり

カーボン・オフセットの仕組みを森林分野においてモデル的に導入し，県民や企業とともに森を支える協働体制を構築するとともに，緑化や森林に対する県民の理解を高める「県民参加の森づくり」活動を実施した。

事業名	事業内容	事業費
とくしま協働の森づくり事業	県民や企業の寄附に基づく森づくりの普及啓発、整備森林の調査、CO ₂ 吸収量証明書の交付	7,766 千円
緑化運動推進事業	県民参加の森づくり活動、緑の少年隊の育成	4,433 千円

1(7) 森林・林業への参画の推進

県民が森林・林業に対して理解を深め、森づくりや緑化・自然保護活動に参画できる拠点として「県立神山森林公園」と「県立高丸山千年の森」を適切に管理するとともに、ここを拠点に各種普及啓発活動を実施した。

区分		事業費
管理運営	県立神山森林公園	71,581 千円
	県立高丸山千年の森	17,850 千円

1(8) 緑化の推進

ア 緑化運動推進事業

森林や緑化に対する意識を高めるため、緑のキャラバン隊等緑の募金運動への協力、緑の少年隊育成等を実施した。

イ 緑化推進事業

県南地域に自生する植生(主にどんぐり)を外資資金の導入により育成、植栽することで、地域自然植生の再生に繋がる環境保全活動を実施した。

事業名	事業費	事業内容
どんぐりプロジェクト推進事業	1,060 千円	地域自然植生の再生

2 オゾン層の保護対策の推進（環境整備課，環境整備課ゴミゼロ推進室）

2(1) フロン回収・処理の推進

「フロン回収破壊法」及び「自動車リサイクル法」に適切に対応するため、第1種フロン類回収業者、第2種特定製品引取業者の登録や登録業者への指導、県民への普及啓発等を行った。

第1種フロン類回収業者 11件

第2種特定製品引取業者 0件

3 酸性降下物対策の推進（環境管理課）

3(1) 酸性降下物（酸性雨等）対策の推進

発生源の立入調査を実施し、酸性降下物の原因となる硫黄酸化物（SO_x）、窒素酸化物（NO_x）

等の排出基準遵守状況を確認するとともに、県内3地点で酸性雨の状況の監視を行った。

4 省資源・省エネルギー啓発の推進（環境首都課）

4(1) 省資源・省エネルギー意識の啓発と実践活動支援の推進

環境省等が主催する七夕のライトダウンキャンペーンやとくしま環境県民会議と連携した夏・冬の電気機器等のこまめなスイッチ切りの取組など広く県民に消灯・節電の呼びかけを行った。

また、徳島県消費者大学校や各種団体の実施する研修において、地球温暖化とライフスタイルの改善、新・省エネ機器の導入促進などの講義を行った。